

Twitterで見られる名詞に後接する接尾辞ミ —「ぼさ」「らしさ」と比較して—

宇野 和*

A Study of the Suffix “mi” Connected with Nouns Often Used on Twitter: Comparing “posa” and “rashisa”

UNO Nagomi

Abstract

This paper analyzes the suffix “mi” connected with nouns often used on Twitter, by comparing the difference between “kodomomi,” “kodomopposa,” and “kodomorashisa.”

Results reveal the unique function of “atarashii miki” that is not observed in other formats. Moreover, it presents the following two points.

First, using “atarashii miki,” a long noun phrase can be taken as its word base.

Second, using “atarashii miki,” connections can be found and impressions described despite a weak relationship between the word base and object.

Keywords : Twitter Suffix mi posa rashisa

1. はじめに

最近、Twitter上で次のような例がよく見られるようになった。

[0a] ママにプロレス技かけてる**子どもみ**ある (2017/1/5 2:01)¹

[0b] ベルトしてないあたり、**子どもみ**を感じて、ほんまむり (2016/12/20 11:35)

これらの用例は接尾辞ミを用いた新しい表現である。本来接尾辞ミは「厚い」や「深い」などの30語ほどの形容詞²や、「新鮮」など一部の形容動詞の語幹、「真実味」や「野性味」のようにごくわずかな名詞にしか後接しない、造語力の弱い接尾辞であった。

しかし近年Twitter内では、接尾辞ミの語基を拡張し多くの品詞に後接させた、濫用とも呼べるような状態が目立つ。Twitterは2006年にアメリカでサービスが開始された新しいメディアであり、スマートフォンの普及により日本でもユーザー数が急速に増加している。インターネット上の言語に関する研究は、これまで大型掲示板の「2ちゃんねる」や、メールやブログなどで用いられている言葉の研究が主であり³、Twitter上の言語についての研究はあまり進んでいない。しかしTwitterという新しい媒体は、新語の広がりリアルタイムに追うことができ、これまでになかった急速な言語変化の過程を捉えられる点で、最新の言語の使用状況を把握するのに適した媒体であると考えられる。

そこで本稿では、Twitter上で見られた接尾辞ミの新用法の中でも名詞を語基としたものの使用例を観察し、近似した意味を表すと考えられる接尾辞「ぼさ」「らしさ」のついた形との比較から、この表現形式の特徴を明らかにすることを目的として考察を行う。

キーワード：Twitter 接尾辞 新しいミ形 ぼさ らしさ

*平成29年度生 比較社会文化学専攻

1. 1. 新しいミ形の定義

宇野（2015）では、形容詞を語基とするミ形に調査対象を絞り、それを「新しいミ形」と呼んで研究を行った。しかし、現在では様々な品詞を語基としてミ形の新語形、新用法が確認されている。この現状をふまえ、本稿では「新しいミ形」の示すものを形容詞語基のものから拡張し、語基の品詞を問わず様々な語に接尾辞ミが後接した、ミ形の新語形の系統の上位分類として定義づける。「新しいミ形」の系統を図で表したものが以下の図1である。

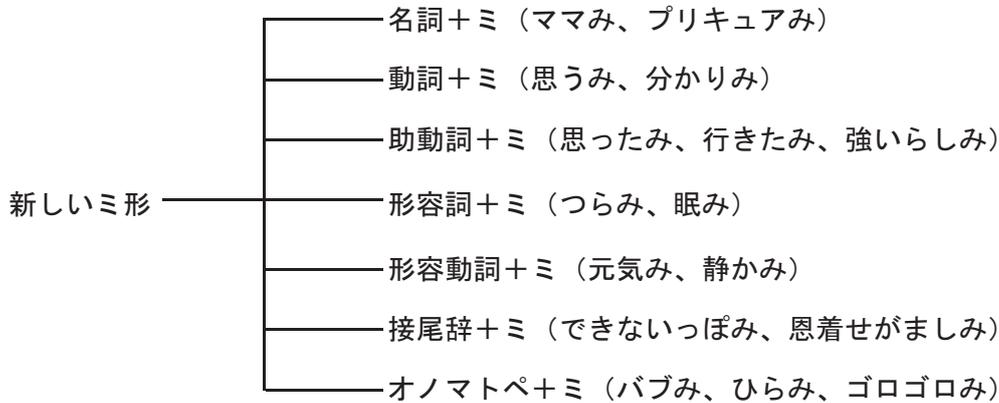


図1 「新しいミ形」の系統

図1は、語基を品詞ごとに枝分けし、括弧内に実際にTwitter上で見られた具体例を付している。このように、「接尾辞ミ」は多くの品詞を語基として持つ非常に造語力の強い接尾辞としてTwitter上で重用されている。

1. 2. 研究目的

[1]の例は、名詞を語基とした新しいミ形「子どもみ」を含む一文であり、ここでの「子どもみ」は、「子どものような感じ」と解釈できる。そしてこれは、「また子どもっぽさ増したね」や「また子どもらしさ増したね」のように「子どもみ」の部分を置き換えても文意が通る。

[1] また子どもみ増したね☺ (2017/4/28 19:59)

つまり、名詞を語基とする新しいミ形は、「ぼさ」や「らしさ」と類似した意味を表していると考えられる。そこで本稿では、①名詞を語基とする新しいミ形と他の類似表現「ぼさ」「らしさ」との差異を指摘し、②名詞を語基とする新しいミ形のTwitterにおける有用性を明らかにすることを研究目的とする。

1. 3. 先行研究

1. 3. 1. 従来の接尾辞ミとミ形⁴

ミ形の研究は、類似した表現であるサ形の研究と比べると少なく、古賀（1989）のようにサ形との比較研究が多い。また、語基に関しては権藤（1993）や小出（2000）のように形容詞を語基としたミ形の研究が多く、名詞やオノマトペを語基としたミ形については杉岡（2005）で簡単に述べられているに止まる。本稿で研究対象としている新しいミ形についての研究はまだ少なく、宇野（2015）、宇野（2017）以外には依田（2016）があるのみである。

まず接尾辞ミの意味機能を『日本文学大辞典』や『日本国語大辞典第二版』等の辞書の記述を参照してまとめると、ミの機能は「形容詞や形容動詞の語幹について名詞を作る」であり、その意味は以下の二つになる。

- ①ミの接続した形容詞（形容動詞）の持つ性質・状態の「程度」や「様子」を表す
（「苦みの強いコーヒー」、「親のありがたみ」等）
- ②ミの接続した形容詞（形容動詞）の持つ性質を有した「場所」であることを表す
（「事件が明るみになる」、「深みに嵌まる」等）

このうち新しいミ形に関係する意味は①のみである。従来の接尾辞ミの意味機能を分析した権藤（1993）、杉

岡 (2005) の指摘をまとめると、上記①の意味を表すときに、ミは「主観的で具体的な感覚」を表していることになる。また、権藤 (1993) は、池上 (1978) で提示された名詞化の持つ「実体化」の機能を援用して、接尾辞ミに本来備わっている機能として「実体化」をあげている。新しいミ形における接尾辞ミも、この従来のミの意味機能を引き継いでいると考えられる。

1.3.2. 「ぼさ」と「らしさ」の差異

次に、本稿で比較対象としている「ぼさ」「らしさ」に関連する先行研究について確認する。元の形である「ぼい」と「らしい」の差異についての研究には山下 (1995) および黄 (1998) がある。

山下 (1995) は話者の感覚の違いに視点を置いて分析し、「ぼい」は語基の性質が外に表出されていて、自己の基準と照合した結果語基に傾斜していると捉えた感覚に基づき、「らしい」は、対象に語基の性質が十分に備わっていて、自己の基準と合致すると捉えた感覚に基づいた表現であるとする。

黄 (1998) は、認知過程から「ぼい」と「らしい」の違いを考察している。「ぼい」の語基は「対象の外見」(p82) の様子を表しており、認知過程では「外部の対象物と言語主体内在のスキーマ知識との照らし合わせの作業」(p82) を行う。そして「らしい」の語基は「その社会に対する共通の認識・見方」(p82) で、認知過程では「外部の対象物と言語主体内在のスキーマ知識との同定作業」(p81) を行うと指摘している。

上記の山下、黄の分析によって明らかになった「ぼい」「らしい」の特徴は、接尾辞サをつけて名詞化した形である「ぼさ」「らしさ」にもそのまま引き継がれると考えられる。したがって、本研究で「ぼさ」「らしさ」と名詞の新しいミ形との比較を行う際には、この特徴を引き継ぐものとして考察していく。

2. 研究方法

2.1. 研究対象

本稿では、研究対象を一般名詞「子ども」を語基とした新しいミ形とする。新しいミ形の語基となる名詞には、固有名詞から一般名詞まで様々な用例があるが、ここで語基を「子ども」に設定したのは、接尾辞の接続した形である「子どもっぽい」「子どもらしい」が『日本国語大辞典第二版』でも立項されているほどに一般的な語であり、先行研究でもこの2語が例として挙げられ、比較検討されることがしばしばあるということからである。

2.2. 調査方法

用例の採集は「Twitter/Search 高度な検索 (<https://twitter.com/search-advanced>)」を用いた。これは Twitter 公式の検索機能であり、日時や検索語を絞って、それに該当するツイートのみを表示することができる。

対象は、2017年6月30日を終点とし、そこから遡って得られた「子どもみ」「子どもっぽさ」「子どもらしさ」を含むツイートそれぞれ100件である⁵。なお、「子どもっぽさ」は2017年6月20日から30日の10日間、「子どもらしさ」は2017年6月17日から30日の13日間に100件に到達している。それに対し、「子どもみ」は2016年9月13日から2017年6月30日の9ヶ月半を要している。しかし現在に近づくほどに用例数は増えており、初出の2015年の段階では月に1件程度の出現度だったのに対し、2017年6月は1か月間に9件の用例が現れている。名詞+ミは Twitter のユーザーの中に広まりつつある言語形式であると言えるだろう。

以下では収集した用例をもとに「子どもみ」と「子どもっぽさ」、「子どもらしさ」の差異を見ていく。

3. 「子どもみ」と他の語形の語基の差異

本来、接尾辞ミは一部の形容詞や形容動詞の語幹、[2a] のようにごく一部の名詞に後接していた。これらはすべて語単位での接続に限られており、句に後接する例は見られなかった。以下の [2b] は「上に立ってきた人間」という名詞句にミが後接した例であり、これは本来の文法規則に従えば非文である。しかし [2c] のように、Twitter 上では句にミが後接した形の用例が見られ、このような名詞句を語基とする例が、「子どもみ」を含む文でも見られるのである。

[2a] 人間み

[2b] *〔上に立ってきた人間〕み

[2c] うまくどっちもができる自信(自分に説き伏せる自信があるところ上に立ってきた人間みを感じる)
あつたけど周りの理解が鈍いせいかなんなふうに… (2017/6/26 9:45)

「子どもみ」においてミが句に接続する例は、以下の [3a]、[3b] のような例である。

[3a] 井ノ原さんと一緒にいるときの三宅さんが引込み思案な子どもみがあるのがすき(イノケンの魅力
を再考中) (2016/10/15 23:43)

[3b] このクリス君からデパートの屋上にある飛行機に乗ってる子どもみを感じる。(2016/12/7 20:20)

[3a] は「引込み思案な子ども」にミが接続した例、[3b] は「デパートの屋上にある飛行機に乗ってる子ども」にミが接続した例である。[3b] は「デパートの屋上にある飛行機に乗ってる」という、[3a] よりも長い修飾句がついている。このように、名詞句にミが接続する例は「子どもみ」において39例と多く見られた。

ここで「子どもっぽさ」の用例を見てみると、明らかに句に「ぽさ」が接続していると考えられる例は1例見つけた。[4a] である。

[4a] 白はお人形らしさがでますよね☺鈴華さんがお迎えする予定の子は金髪ということなので西洋の子どもっぽさがでて可愛いと思いますよ！ (2017/6/24 22:38)

[4a] では、文脈から判断するに、「西洋の」は「子どもっぽさ」にかかっているのではなく「子ども」にかかっている。「ぽさ」は「西洋の子ども」という名詞句に接続しているのである。

また、以下の [4b] は語に接続しているとも句に接続しているともとれる例であり、このような例が数例見られた。

[4b] こーいう高峯がすき…!!高1の子どもっぽさでてるやつ (2017/6/28 17:05)

この [4b] では、「高1の」が「子どもっぽさ」にも「子ども」にもかかっているように解釈できる。前者は、高校1年生が「子どもっぽい」と投稿者が判断していることが推察され、後者では「高校1年生の子ども」のような感じであるという意味で捉えられる。

一方で、以下の [5] のような「子どもらしさ」の用例を見ると、「らしさ」は「子ども」という語にしかつかないことがわかる。

[5] どんどん大人になっていくマフくんもたまに見せる子どもらしさもあっても心も身体も大人になって私は… (2017/6/29 20:48)

[5] は「たまに見せる子ども」に「らしさ」がついているわけではなく、「子どもらしさ」を「たまに見せる」が修飾している。ここから、「らしさ」の語基は語単位の名詞であり、名詞句は語基として成立しないことがわかる。

このように、「ぽさ」は句にも接続し得るが、それはわずかな例であり、「らしさ」は句を語基とすることはない。「子どもみ」の用例の多くが句に接続していたことを踏まえると、「子どもみ」「子どもっぽさ」「子どもらしさ」の差異のひとつには、語基があると言えよう。つまり、「子どもみ」は他の類似表現では表し得ない、長大な名詞句を語基とした表現をすることができるのである。この句を語基とできるか否かは、「子どもみ」と他の表現のコロケーションの差異にも関わってくるため、以下ではそれぞれの表現と共起した語について考察を行う。

4. 「子どもみ」と他の類似表現のコロケーションの差異

「子どもみ」「子どもっぽさ」「子どもらしさ」と共起した語を分析すると、コロケーションのバリエーション(異なり語数)は「子どもらしさ」(71語) > 「子どもっぽさ」(49語) > 「子どもみ」(13語) という順に少なくなっていることがわかった。「子どもみ」は13語と最もバリエーションが少なくコロケーションが定型化しているが、これは新しいミ形の特徴であると言える。

そして、「子どもみ」「子どもっぽさ」「子どもらしさ」の後ろに共起する語にどのようなものがあるかを表にしたものが表1、表2、表3である。これは、助詞を省略し、活用形のバリエーションがあったものはすべて終止形の形にして同一の語⁶でまとめたものである。表1においては、共起した語すべてを表に記載したが、表2、

表3では用例が1件のみのものは「その他」としてまとめて示した。

表1 「子どもみ」と共起した語と表2 「子どもっぽさ」と共起した表3 「子どもらしさ」と共起した
その用例数 語とその用例数 語とその用例数

コロケーション	用例数	コロケーション	用例数	コロケーション	用例数
ある	40	出る	11	ある	8
感じる	13	ある	10	かわいい	5
増す	11	残る／残す	9	残る	4
すごい	7	ない	7	滲む／しみ出る	4
強い	6	抜けない	4	感じる	4
溢れる	5	持つ／併せ持つ／持ち合	4	出る／出す	4
やばい	2	わせる	4	ない	2
えぐい	1	同居している	3	大事	2
すばらしい	1	抜ける	3	全開	2
足りない	1	かわいい	2	ゼロ	2
激しい	1	好き	2	その他（用例1件のもの）	61
感ある	1	その他（用例1件のもの）	39	共起なし	2
帯びる	1	共起なし（！／、含む）	6	計	100
共起なし（。／…含む）	10	計	100		
計	100				

それぞれの表を比べてみると、「子どもみ」において「ある」が突出して多く用例が出現していることがわかる⁷。「子どもらしさ」でも「ある」が最も多く共起しており、「子どもっぽさ」でも二番目に多く共起しているが、前者は8例、後者は10例と「子どもみ」の40例には及ばない。「子どもみある」の用例は以下の [6a]、[6b] のようなものである。

[6a] 今の私歯医者さんで順番来るの嫌すぎてお腹痛くなってる子どもみある (2017/6/30 18:49)

[6b] へるめすくん、小学生みたい。ほんとにぜうす様と女神さまの子どもみある… (2016/9/22 2:46)

[6a] は「子ども」に長い修飾句をつけてどのような子どもであるのかということをも限定している。そして、それにミをつけて全体を名詞化し、「ある」という存在詞と共起させることで投稿者自身の状態を客観的に叙述している。それというのも、先行研究でも示したように接尾辞ミが本来的に「実体化」の機能を持つことから、新しいミ形にすることで、話者の感情や感覚を内側から取り出して、あたかも実体を持つモノであるかのように提示することができるのである。提示されたミ形はモノであるから、「ある」という存在詞と共起しやすい。「ある」をつけることで、自分自身を俯瞰して見ているかのように、話者の感情や感覚を、話者の外部に存在するモノとして客観的に述べるのである。[6a] では、「歯医者さんで順番来るの嫌すぎてお腹痛くなってる子ども」のようであるからどうなのかという感情的・評価的な部分には言及せず、状態だけをありのままに、客観的に描写している。また、[6b] のような例は「子どもみある」の用例においてかなり多く見られたものであるが、これは対象であるAが「BとCという二人の人物の子どものように見える」ということを述べている。BとCは実際にAの両親であるわけではなく、BとCが同性であることも少なくない。投稿者がAとBとCという赤の他人を家族のような形で関連づけ、AがBとCの子どものように思える、という意見を提示しているのである。このような表現は「子どもっぽさ」でも「子どもらしさ」でも見られなかった。3章で述べた、「子どもみ」の語基の長大さとも関係するが、「AはBとCの子どもみある」という表現は、「BとCの子ども」がそのまま語基となれるからこそ成立する表現なのである。この点から考えると「子どもっぽさ」では成立する可能性もあるが、今回採集した用例の中には表れなかった。

また、表1～3を見ると、「子どもっぽさ」「子どもらしさ」は、「ある／ない」や「残る」といった語と共起することが多いが、「子どもみ」では「ない」も「残る」も共起していない。これは、「子どもみ」に言及するときには、対象に「子どもみ」が存在していることを投稿者が前提としているからなのではないだろうか。「子どもらしさ」は「子ども」でなくなれば失ってしまうものであり、「子どもっぽさ」も、一般的には否定的に評価されるように⁸存在しない方がよいとされるものである。であるから、「ない」や「残る」、「抜けない」などの語

と共に起す。しかし「子どもみ」として言及するとき、投稿者は対象に「子どもみ」があると判断し、それを前提として、その状態をありのままに述べるか、その「子どもみ」の度合いがどの程度であるのかを述べるのである。この前提の違いが、コロケーションに現れている。

また、「子どもみ」のコロケーションを「子どもっぽさ」「子どもらしさ」のそれと比べると、「子どもみ」と共起した語には、「すごい」や「やばい」など、程度の激しさを表す形容詞が多いことも特徴としてあげられる。[7a] や [7b] がその例であるが、このような程度性を表す形容詞は「子どもっぽさ」や「子どもらしさ」では共起しない。[7a] は、「すごい」という形容詞で「親戚の子どもみ」を修飾し、投稿者が「ユーキくん」という対象に「子ども」のような要素を激しく感じているということを表している。[7b] も対象に対して「お母さんに駆け寄る子ども」のような感じを抱き、そしてその感覚が激しく感じられるということ「強い」という形容詞で表している。投稿者が対象に対して抱いた「子どもみ」という感覚は「評価」や「感想」だと言えるが、それがどの程度激しいのかを述べることは、Twitterという媒体が独り言を呟く場であることに関係していると考えられる。何かを見聞きしたときに、「綺麗」や「すごい」などと実際に口に出して感想を呟くのと同じように、Twitterに感想を投稿し、誰かと共有しようと考えているのである。

[7a] 年末感と相まってこのユーキくん親戚の子どもみがすごい！お年玉あげたい🍀 (2016/12/28 23:57)

[7b] わーそうかまさにいまりハ中か…！ケガなければなにより…てかお母さんに駆け寄る子どもみ強い… (2016/12/28 21:53)

5. 「子どもみ」の表す意味

5.1. 「子どもみ」と「子どもっぽさ」の意味の差異

「子どもっぽさ」は3章で述べたように句を語基とすることも可能であり、その表す意味も「子どもみ」とかなり近い。「子どもみ」の用例は「子どもっぽさ」と換言しても意味の通る文が多いが、「子どもみ」と「子どもっぽさ」の違いはどのようなものであるのか。以下の [8a]、[8b] は「子どもっぽさ」の用例だが、これはどちらも見ること、聞くことによって対象が「子ども」っぽいと判断している例である。

[8a] Cuよりはエレガントっていう感じなんだけどたまに見せる子どもっぽさが可愛い (2017/6/30 22:28)

[8b] 声に子どもっぽさがなくなってる (2017/6/28 21:40)

このように、「ぽさ」は実際に五感で知覚する⁹ことで、語基の持つ要素をどの程度持っているかを判断し、その要素が多分に含まれていると判断したときに用いられるのである。

一方で、「子どもみ」は五感で知覚できるかどうかあまり関係ない。先の [3a] や [3b] の例のように、「子どもみ」を感じた対象の見た目や仕草など、視覚的判断による評価であると考えられるものもあるが、「子どもみ」の評価の主眼はそれではない。見て分かった、聞いて分かったということよりも、投稿者が「子ども」の要素を感じ取ったという感覚、それ自体を述べているのである。どのようにして感じ取ったかということは問題ではなく、そう感じたという感想を率直に述べるのが、接尾辞ミを用いた表現であると言えるだろう。

また、「子どもみ」の場合は対象に語基の属性が少しでも感じられれば、語基とカテゴリの異なるものに対しても用いることができると考えられ、この点において、「子どもみ」と「子どもっぽさ」は異なるのである。小出 (2009) は「ばい」の用法について「XばいY」におけるXとYの関係を検討しているが、「XとYの関係の基本は、YがXを含有するということである」(p7) と述べるように、ある程度メタファリングが行われたとしても、修飾語と被修飾語のカテゴリはほぼ同質であると考えられる。たとえば「子どもっぽい大人」や「子どもっぽい服」はメタファリングが成立するが、これは、「大人」は「子ども」が成長するものであり、「服」は「子ども」が身に着けるものであることで連想が成立するからである。しかし、「子どもっぽいゴキブリ」のように、XとYが全く関連性のないものになると文が成立しない。「ゴキブリ」の中に「(人間の) 子ども」の要素を見出すことが普通できないからである。しかし、「子どもみ」の場合は成立してしまう。ツイートの投稿者が少しでも要素を見つけられれば、たとえ他のすべての人間が「ゴキブリ」に「子ども」の要素を見つけられなかったとして

も、「自分はそう思った」という意見の提示ができてしまうからである¹⁰。

以上のように、「子どもみ」と「子どもっぼさ」は、語基という形式面でも、その指す意味内容でも近接しているが、「子どもみ」の方がより「子ども」の要素を感じ得る対象が広いということが指摘できる。

5. 2. 「子どもみ」と「子どもらしさ」の意味の差異

「子どもらしさ」と「子どもみ」の意味機能は大きく異なるものであることが、4章までの考察によって示唆された。特に語基において、「子どもみ」は語基が語単位ではなく句単位になるが、「子どもらしさ」は句を語基とすることができないということは、3章で述べたとおりである。そしてこの句を語基とすることができるか否かということが、「子どもみ」と「子どもらしさ」の表す意味内容の差異につながっている。先の [6a] の例を再掲する。

[6a] 今の私歯医者さんで順番来るの嫌すぎてお腹痛くなってる子どもみある (2017/6/30 18:49)

この [6a] の例は、語基が「歯医者さんで順番来るの嫌すぎてお腹痛くなってる子ども」という長い名詞句であり、「子どもみある」の部分は「子どもらしさ(が)ある」に言い換えることができない。「子どもらしさ」は、どのような「子どもらしさ」かということを修飾することはできるが、「子どもみ」のように修飾句によってどのような「子ども」かということ限定することはできないのである。

また意味を考えても、「子どもらしさ」というのは、その社会に存在する「子ども」の役割や見方に合致していることを表すことが黄 (1998, 2004) で指摘されていた。つまり、「子どもらしさ」における「子ども」というのは、社会的に構成された「子ども」の典型例であると言える。

[9] テレビの子役の中ではダントツで子どもらしさがあり可愛かったですよね～♪もう今は大きくなっちゃって! (´O`)笑 あの頃に戻りたいな… (2017/6/27 20:12) ※rp

この [9] の例のように、「子どもらしさ」は基本的には「子ども」に対して用いられ、「子ども」が、社会的に構成された「子どもというものの典型例」に合致しているかどうかと言及するときに用いられる表現なのである。「子どもらしい大人」という表現はできないこともないが、黄 (1998) で指摘されるように、「らしい」が修飾する部分は被修飾部と「指示対象の範囲が同じ」(p81) でなければならない¹¹。一方で「子どもみ」は、先の [3a] の「子どもみ」が明らかに大人を対象としているように、「子ども」が対象でないことが多い。また、「子ども」を対象としていても、それが「子どもの典型例」であるかどうかは問題としておらず、ただ単に、対象が「子ども」の持つ要素をいくつか持ち合わせていると投稿者が判断したときに用いられるのである。

このように、「子どもみ」と「子どもらしさ」は、語基という形式面、表す意味内容の点でも大きく異なった表現であることがわかった。

6. おわりに

本稿では、名詞に後接する新しいミ形の意味機能を、類似表現である「ぼさ」「らしさ」と比較することによって明らかにすることを目的として考察を行った。その結果は以下の表4のようにまとめることができる。

表4 「子どもみ」「子どもらしさ」「子どもっぼさ」の意味機能の差異

語形	句を語基とできるか	語基と対象の関連性
子どもみ	○	関連性は薄くても良い
子どもっぼさ	○	同質のカテゴリ
子どもらしさ	×	同一カテゴリ

このように、接尾辞ミは「子ども」を含む長大な名詞句を語基とすることができ、「子どもみ」だと判断した対象と語基である「子ども」に関連性がまったくなくても用いることができることから、様々な現象、対象に対して個人の感想を述べることに適した表現であると言える。そして、「子どもみ」という個別の例に限らず他の名詞語基の新しいミ形でも、一見すると関連性の薄いものに何らかのつながりを見出し、それがどのようなものであるのかという感想を表すことができる。たとえば、名詞+ミでかなりの用例が出現する「ママみ」には、用例 [10] のように男性に対して用いられた例が見られる。普通男性は「パパ」であり、「ママ」とは関連性が薄い。

「ママみ」とは、母性的であり、優しさや包容力のある人物に用いられる語であると解釈できるが、投稿者が少しでも対象にそのような要素を感じることができれば、対象の性別は関係なく、男性に対しても用いることができる語であると言えるだろう。

[10] 直虎の周りの男がみんな良すぎるんだよなあ〜政次は美人だし之のじは可愛いしろくぎは優しいし方久は知恵があるし昊天はママみ溢れてるし傑山は筋肉あるし旅の男はフンドシ #おんな城主直虎 (2017/4/23 20:54)

また、ほかに名詞語基の新しいミ形で用例の多い「雄み (オスミ)」や「幼女み」においても、本来的には関連性の薄いものに対して投稿者が繋がりを見出し、対象に抱いた感想を述べている。以下の [11a]、[11b] がその例である。

[11a] 嵐ちゃんあんなにいい女なのに、こんなに雄みあるのズルくないですか…? (2017/6/29 13:26)

[11b] えすり垢でも呟いたんだけどゴリゴリマッチョで男臭いキャラほど幼女みを感じてしまうんですけどこの現象の名をご存知の方いらっしゃったらぜひ教えていただきたいです☺ (2017/6/25 19:13)

[11a] では、「嵐ちゃん」というオネエのキャラクターに対して「雄み」を用いており、これは投稿者の独自の感想であると考えられる。[11b] は投稿者が「ゴリゴリマッチョで男臭いキャラ」に対し個人的に「幼女み」を見出してしまうというツイートである。ここまでの例に挙げたように、名詞+ミの例を観察すると、語基には人の性質を表すことができる語が多く、自然物や食べ物など、モノの名前の名詞はあまり用いられないということが特徴として挙げられる。

これらの名詞を語基とした新しいミ形は、名詞に接尾辞ミをつけて名詞化するという、二重の名詞化の働きの結果生じた語形である。これは先行研究で指摘されているように、接尾辞ミが、投稿者が対象から得た「主観的で具体的な感覚」を「実体化」して提示することができるという機能を本来的に持つことに由来する。ミ形にすることによって、語基に「私はこう感じた、思った」という投稿者の「感想」を付加するのである¹²。ありきたりの感想ではなく、オリジナリティのある、「自分だけの感想」を呟くことができるのである。

しかし、このオリジナルな感想は、逆に言えば「他と違う」ということで批判や所謂「炎上」の的になりやすい。Twitterは、投稿された文章が、いつも不特定多数の人間の目に晒されているという特性を持つ。書いた人間しか見ることのない日記とは違い、他人の目を気にして文章を投稿せざるを得ない。不用意に「炎上」を引き起こさないためにも、自分の思いや感想を呟くことでさえも「一個人の意見である」という注釈をつけて自己防衛する必要があるのである。この「自己防衛」に関連して、「個人的な感想である」と提示することのできる新しいミ形は非常に有用である。つまり、他とは違う独自の表現で自分の感想を表すことができ、同時に自己防衛も果たせるという名詞の新しいミ形は、Twitterという媒体において非常に有用な形式であると言えるのではないだろうか。

【註】

- 以下、用例では「子どもみ」「子どもっぽさ」「子どもらしさ」を太字とし、語基の名詞句を下線(点線)、共起した語を下線(実線)で示す。用例の末尾の「※rp」はそのツイートが誰かのツイートに対する返信であることを示す。
- 古賀(1989)、杉岡(2005)で接尾辞ミの生産性について触れられている。宇野(2015)の元となった執筆者の卒業論文においても、従来のミ形の用例数について詳しく検討した。
- 内山(2010)は2ちゃんねる(2017年10月1日に「5ちゃんねる」に改名)とニコニコ動画で用いられる言葉から、ネット集団語について考察している。また太田(2001)はPCメールと携帯メールをメールの特性も踏まえて比較している。田中(2014)はブログに現れるヴァーチャル方言を扱っている。
- 本稿では語基(品詞は問わない)に接尾辞ミが後接した形を「ミ形」と呼ぶ。
- ツイートを採集するにあたっては、ツイートをした者のアカウント名は除き、ツイートの内容と日時のみを対象として用例を集めた。用例の重複を避けるため、リツイートや非公式リツイート、定期ポストに関しては、引用元のアカウントのもの、また最初にツイートしたもののみを採集することとした。また、表記については「子ども」という漢字仮名交じり表記に限定して検索を行った。
- 表2や表3においては、「出る/出す」といった自他動詞は同一のものとし、「持つ/併せ持つ/持ち合わせる」など、ほぼ同等の意味を表すと考えられる語も同じものとして数えた。表に記載するにあたっては併記する形としたため、表に記載されているものがすべて

の例（用例数1だった「その他」を除く）である。

- 7 宇野（2015）、宇野（2017）の調査においても、形容詞や助動詞が語基の新しいミ形は、動詞「ある」と最も多く共起していた。以下は、形容詞と助動詞を語基とした新しいミ形と「ある」が共起した例である。
- [a] そんな自分も愛おしく可愛みあると思って行きたい（2014/1/13 23:29）
- [b] めっちゃ一緒に行きたみあります……(´ω`)（2016/3/21 3:40）※rp
- 8 山下（1995）、黄（1998）ともに、「ぼい」はマイナスの評価になりやすいと指摘している。
- 9 黄（1998）では「ぼい」の語基は「対象の外見」（p82）の様子を表していると指摘されているが、「子どもっぽさ」の実際の用例を見ると、「声」に対して「子どもっぽさ」を用いたものも見られ、また、小出（2009）では「バラの花っぽい香り」（p4）というように嗅覚に関する「ぼい」も指摘されているため、ここでは五感で知覚できるものであるとする。
- 10 この「自分はそう思った」という意見の提示は、新しいミ形において重要な働きのひとつである。これは執筆者の修士論文において「主観の提示」として、「個人的な意見である」と暗示する機能であると述べた。
- 11 黄（1998）は「あの人は犬らしく泳いでいる」を例としてあげている。「あの犬」と「犬」の指示範囲が異なるために、不自然な文章となるのである。
- 12 宇野（2015）で調査した形容詞語基、宇野（2017）で調査した助動詞「たい」語基の新しいミ形のふるまいを踏まえると、このミによって語基に「投稿者の感想」を付加して意見を示すという働きは、名詞語基の新しいミ形に限らず、他の品詞を語基とする新しいミ形にも共通しており、「新しいミ形」という新語形の基本的で最も重要な機能であると言えよう。

【参考文献】

- 池上嘉彦（1978）『意味の世界』日本放送出版協会
- 内山弘（2010）「ネットの日本語—2ちゃんねるとニコニコ動画を中心に—」『地域政策科学研究』07
- 宇野和（2015）「Twitterにおける『新しいミ形』」『国文』123
- 宇野和（2017）「Twitterにおける助動詞『たい』のミ形—その機能と使用拡大の要因—」2016年度お茶の水女子大学修士論文
- 太田一郎（2001）「パソコン・メールとケータイ・メール—『メールの型』からの分析—」『日本語学』20-10
- 北原保雄ほか（1981）『日本文法事典』有精堂出版
- 小出慶一（2000）「形容詞の意味の一側面—『～まる』と『～み』のつく形容詞—」『群馬県立女子大学国文学研究』20
- 小出慶一（2009）「接辞『～ぼい』の用法の広がり—『雪が降るっぽい』という表現はどのように成立したか—」『群馬県立女子大学紀要』26
- 黄其正（1998）「認知過程からみた接尾辞『～らしい』と『～っぽい』」『広島大学日本語教育学科紀要』8
- 黄其正（2004）『現代日本語の接尾辞研究』溪水社
- 古賀知子（1989）「コミュニケーションに及ぼす接尾辞『さ・み』の語感論理の働きについて—親の有難さと有難みはどう違うか—」『九州大学留学生教育センター紀要』1
- 権藤早千葉（1993）「形容詞の派生名詞『～み』について」『福岡YWCA日本語教育論文集』6
- 杉岡洋子（2005）「名詞化接尾辞の機能と意味」『現代形態論の潮流』くろしお出版
- 田中ゆかり（2014）「ヴァーチャル方言の3用法—『打ちことば』を例として—」『話し言葉と書き言葉の接点』ひつじ書房
- 日本国語大辞典第二版編集委員会小学館国語辞典編集部（2001）『日本国語大辞典 第二版』小学館
- 山口明穂・秋本守英（2001）『日本語文法大辞典』明治書院
- 山下喜代（1995）「形容詞性接尾辞『～ぼい・～らしい・～くさい』について」『講座日本語教育』30
- 依田綾乃（2016）「ツイッターに用いられる『～み』の用法」『信大國語教育』26